

「第3期鳴門市子ども・子育て支援事業計画素案」

についての意見募集に対する結果公表

1 募集結果

募集期間	令和7年1月7日（火）から令和7年2月6日（木）
意見等提出者数	1人
提出件数 (提出方法内訳)	7件 (直接持参0通、郵便0通、FAX0通、Eメール1通、その他0通)
意見等の反映状況	A 意見等を計画等に反映するもの・・・・・・・・・・ 0件
	B 意見等が既に反映されているもの・・・・・・・・・・ 2件
	C 意見等を今後の参考とするもの・・・・・・・・・・ 5件
	D 意見等を反映する見込みのないもの・・・・・・・・・・ 0件

2 意見等の分類

項 目	件 数
(1) 計画全体に関する意見等	1件
(2) 「なるとまるごと子育て応援パッケージ事業」に関する意見	1件
(3) 「健やかな育ちのための切れ目のない支援」に関する意見等	2件
(4) 「安全・安心な子育て環境づくり」に関する意見等	3件

3 意見等と市の考え方

(1) 計画全体に関する意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え	反映
1	今後も鳴門市に住み続けたいので、今よりもさらに安心して暮らすことのできる鳴門市になってほしい。	計画では、第2期計画に引き続き『自然とふれあい 笑顔がうずまく 子育てを始めるまち なると』を基本理念に掲げ、「なるとまるごと子育て応援パッケージ事業」を実施するなど、安心して子育てができる環境づくりを推進するとともに、地域や、学校、行政など社会全体が連携し、市民の皆さんが笑顔に包まれる「子育てを始めるまち」として選ばれる鳴門市の実現をめざすこととしています。	B

(2) 「なるとまるごと子育て応援パッケージ事業」に関する意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え	反映
1	「中学3年生応援給食費無償化事業」は保護者の負担軽減を図るためにとても良いため、小中学生全員を対象とした事業へと拡充してほしい。子育て世代をサポートする「なるとまるごと子育て応援パッケージ事業」を今後も継続、さらなる充実をお願いしたい。	「中学3年生応援給食費無償化事業」は、高校進学などを控え、経済的負担が大きくなる世帯の負担軽減を図るために実施しています。 ご提案の趣旨については、今後、「なるとまるごと子育て応援パッケージ事業」の内容の充実や継続に向けた検討を進めていくなかで、参考とさせていただきます。	C

(3) 「健やかな育ちのための切れ目のない支援」に関する意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え	反映
1	感染症予防のため中止されているブックスタート事業での読み聞かせを対策を講じたうえで再開し、親子で読み聞かせの楽しさを感じることでできる機会をつくってほしい。 絵本の数や種類を増やして、子どもと一緒に選ぶ経験をすることも大切ではないか。	計画では、「子どもの健やかな育ちを見守るための取り組み」として『ブックスタート事業』の実施について掲げ、窓口で絵本を提供し、子どもの読書活動の大切さを伝えるとともに、乳幼児期からの読書のきっかけづくりを行うこととしています。ご提案いただいたご意見を参考に、今後も、絵本を通じた親子の絆づくりや子どもの豊かな人間性を育む環境づくりを進めてまいります。	C

2	乳幼児の誤嚥・窒息事故を防ぐため、乳幼児定期健診などの機会に、実際の大きさの食品サンプルをもとにした離乳食指導や調理実習を行ってほしい。	計画では、「妊娠期からの安心を築き、親子の健康を守るための取り組み」として『妊産婦相談・乳幼児相談の推進』や『乳幼児健康診査の実施』について掲げ、フォロー体制の充実に努めることとしています。また、離乳食に関する不安や疑問を解消できるよう、予約制の離乳食相談も実施しています。ご提案の具体策については、離乳食に関する取り組みの充実に努めるなかで、今後の参考とさせていただきます。	C
---	--	--	---

(4)「安心・安全な子育て環境づくり」に関する意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え	反映
1	近所の公園の遊具が古くなり、撤去されたままとなっている。定期点検を行い、古くなれば新しく設置するなどの対策をし、子ども達が遊ぶ場所の確保・充実をお願いしたい。	計画では、「親子にやさしい環境を整えるための取り組み」として、『子どもの遊び場の整備』を実施することとしています。安全対策の強化及び更新に努めるとともに、地域との連携を図りながら、子ども達が安心して遊べる場所の確保・充実に努めてまいります。ご提案の趣旨については、今後の参考とさせていただきます。	C
2	小学校の通学時間帯に交通量が多い道路では、警察や地域の方によるパトロールなど、通学路の安全の保障及び事故を未然に防ぐ対策をしてほしい。地域の交通安全意識も高まり、子どもから大人までが安心して生活できる鳴門市になると思う。	計画では、「親子にやさしい環境を整えるための取り組み」として、すべての人が安心して通行できるよう、防犯灯・街路灯等の整備や道路・交通環境の整備に努めることとしています。また、「子どもを災害・犯罪・事故から守るための取り組み」として、地元警察署や関係団体等と連携し、地域ぐるみの防犯活動や交通安全運動などを推進することとしています。	B
3	自転車走りづらく転倒の恐れがあり危険な箇所が大変多くある。子育て支援の一つとして、自転車通学をしている中学生・高校生が安全に通学できる自動車道を整備してほしい。	計画では、主に就学前の子ども・子育てに関する取り組みを掲げています。「親子にやさしい環境を整えるための取り組み」として『道路環境の整備』において、パトロールや電話連絡に加え、情報提供システム『道レボ』を活用し、道路危険個所の把握及び事故予防に努めています。ご提案の趣旨については、今後の参考とさせていただきます。	C